

高収益店舗を拡大

「フリーズマート」積極出店

サンエー・インター

サンエー・インターナショナルの三宅孝彦社長は、「低価格化、選択型消費をキーワードとする今の時代変化に合わせたブランド戦略を推進する」とし、今期(10年8月期)は引き続き不採算店の退店など構造改革の一方、前期立ち上げ好調な「フリーズマート」や「シルバイシルスチュアート」を積極出店、高収益店舗の拡大を図る。

今期は①マーケット構成で6・5%販管費を抑制の変革②ビジネスモデルの進化③収益構造改革を柱とする中期ビジョンの実行初年度と位置づける。既に前下期から取り組む、前期は百貨店を中心に低収益、不採算店舗を撤退し、計223店舗を退店(7、8月で131店舗)、「フライベイトレーベル」「コフィコレクト」「キャシャレル」「ディジー」の4ブランドを撤退した。経費削減策も下

期は低価格志向、SC販路に対応したブランド開発に注力、今秋3店舗で立ち上げた「フリーズマート」は1号店のラゾーナ川崎が初日600万円の売り上げと好反響、初年度12店舗を計画する。「シルバイシルスチュアート」も前期6店舗に今

減収経常赤字に 8月期連結

8月期連結

サンエー・インターナショナルの09年8月期連結は、直営既存店売り上げが11・9%減と苦戦し、売上高は7%減の1118億円。マークダウンの実施で売上総利益(粗利益)率が2%低下、営業利益4200万円(前期利益59億円)、

経常損失5億2500万円(同55億円)と収益悪化した。

売上高増減率は販路別で百貨店13・3%減、F B・路面店2・5%減。ブランド別では売り上げ上位から既存ベースで「ナチュラルビューティ」「ナチュラルビューティ」「ベージュ」16・7%減、「フリーズショップ」7・4%減、「マーガレットハウエル」1%減、「ピ

ユーマンウーマン」12・6%減など。

今期の業績予想は売上高1065億円、営業利益10億円、経常利益3億4000万円、純利益1億2000万円。既存店売り上げで上期10%減、下期横ばいで通年5%減を計画。FB売り上げの構成比上昇など粗利益率で1・2%改善、販管費で4・2%減を計画。

D計画への転換を図る。

今期は出店70店舗、退店71店舗を計画、高収益店舗の出店、低収益店舗の退店で1店舗当たり売り上げで1億1000万円(前期1億3000万円)を計画、経営目標で1億9000万円を掲げる。

期5店舗の出店を計画す

る。「ナチュラルビューティ」「ベージュ」など既存ブランドも商品ラインアップの変更や販路拡大などを計画する。

ビジネスモデル進化では、スーパーバイザー職を導入、消費者密着型M